

栄養繁殖系作物のウイルスフリー苗作出と大量増殖法の開発

【研究概要】

多くの栄養繁殖系作物では、ウイルスによる生産力や品質の低下を防ぐため、ウイルスフリー苗の利用が不可欠である。また、挿木・株分け等による増殖が困難である栄養繁殖系作物は、苗の確保が課題である。そこで組織培養によるウイルスフリー苗の作出及び大量増殖系の開発を行う試験に取り組んだ。その中で、今年度は下記の2つの成果が得られた。

- (1) ブバルディア：奇形花発生程度の少ない母株の培養利用による奇形花低減技術を確立するため、「チェリーピンク」で培養シュートの発根及びポット栽培での開花調査を行った。奇形花発生程度の少ない母株由来の系統では、培養シュートの発根率は良好で、その培養苗は夏期の開花において奇形花率が顕著に低いことを確認した。
- (2) イチゴ等の培養苗を適宜、継代培養し、維持した。